



教育 おおらか さわやか きわやかな人を育む大崎の教育

問 教育委員会 ☎476-1111(401)

◆外国語指導助手の紹介

12代目となる外国語指導助手（ALT）、ジャック・アレキサンダー・ウィリアムズさんが着任されました。出身は、アメリカ合衆国ワシントンD. Cです。

ジャックさんには、町内の中学校を中心に英語授業の補助や、小学校児童が英語に慣れ親しむためのサポートをしていただきます。

まちで見かけたら気軽に話しかけてください。



【大崎町の皆さんへメッセージ】

皆さん初めまして。私はジャック・アレキサンダー・ウィリアムズです。アメリカのワシントンD. Cから来ました。

2年間、宮崎県串間市でALTとして働きました。4月から大崎町でまたALTとして働いています。

趣味はたくさんあります。日本語を勉強しているので、お会いしましたら、日本語でお話ししましょう！

どうぞ、よろしく願いいたします。

まぶい窓おの庭 子ども航海の羅針盤になるために

NO.18 有明高等学校 教頭 山神正文

私は枕崎で生まれ育ち、幼少の時から海に慣れ親しみ、いつしか、視界に入ることのない水平線の向こう側で仕事がしたいと思いました。実際、20代の約10年間、外国航路の運航士として世界各地を航海し見聞を広め様々な体験をしました。国内事情により悲喜こもごもの部分を含みながらも、子どもの目は、どこでも純真で活力に溢れていました。その周囲には、親が子どもを温かく精一杯見守りながら、本気の感情をさらして実直に接している親子関係に多くの感銘を受けました。

ここ大崎は、歴史に彩られ風光明媚な町です。地元にも染まりながらも、親として、文字通り木に立って見ているだけでなく、子どもが何をキャンバスに描きたいのか？どうなりたいのか？何がやりたいのか？の観点で視野を広げる支援を積極的にしたいものです。答えも道も一つじゃない多様な生き方を全方位に巡らす柔軟な考えも必要となるでしょう。

また私は、前任校で実習船・薩摩青雲丸（645トン）の指導教官の立場で、幾度となく長期遠洋実習で航海しました。実習生の高校2年生が、親元を離れ『太平洋の動く教室』としてマグロ延縄実習に取り組み、大海原の時化と船酔いの壮絶な経験もしながら約75日間の航海を全うして、心技体が見違える程、逞しい若者になって帰ってきます。生徒一人ひとりが本気で成し遂げることによって目標が達成できるのです。生徒たちのすべてはやるか、やらないかで、また、あきらめるか、あきらめないかです。

大崎の教育力を高めるためには私たち大人が、『夢に向かう子ども航海』の途上において、子どもを信じてワクワクした気持ちの笑顔量で船の重心を下げ、安定性を増して針路保持をさせたいものです。

未来航海へ BON VOYAGE！